

令和6年度第1回 宜野湾港マリーナ・与那原マリーナ 利用者意見交換会
両マリーナの改善について

港湾管理者

An aerial photograph of a large marina filled with numerous sailboats of various sizes docked at long piers. The water is a clear, light blue-green color, and the sky is a pale, hazy blue. In the background, a long concrete breakwater extends into the sea, and a small island or headland is visible on the left. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day.

宜野湾港マリーナについて



宜野湾港マリーナについて

- **昭和62年**、海邦国体のヨット競技場として整備（37年経過）
その後、海洋レクリエーション拠点として使用
- 収容可能数 576隻（海上332、陸置き244隻）
→ほぼすべてが使用済み、待機者あり
- 給油施設、駐車場590台、35tクレーンなどを備える

国内有数の大規模マリーナ

- **指定管理者制度**による管理
（指定管理者：（株）シーエンジニアリング沖縄）

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（2022年）における宜野湾港マリーナの位置づけ

基本施策3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

(12) 持続可能な発展と県民生活を支える社会基盤の高度化及びネットワークの形成

③ 圏域の拠点港湾等の機能強化

小型船だまりやマリーナ等の港湾空間の確保に取り組み、地域の振興や
魅力あるウォーターフロント空間の形成を図ります。

県土の広域的な方向性

(1) 中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用

西海岸地域においては、魅力と個性、国際性を備えた高度な都市機能を有する
まちづくりや**世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート等の形成**を図る

宜野湾港マリーナのポテンシャル

- マリンスポーツ、海の景色、ビーチ、リゾートホテル、ショッピング、空港等の絶好な立地条件！
- 世界屈指の透明度「ケラマブルー」を体感できる国立公園「慶良間諸島」がすぐ近くに！
- ヨットレース、釣り大会、マリンフェスタ等多数のイベント開催！
- 収容率94%、利用を待ち望む人多数、**国内有数の人気**を誇る！

恵まれた周辺環境

宜野湾港マリーナからの眺望
慶良間諸島国立公園



宜野湾トロピカルビーチ



宜野湾コンベンションセンター



琉球海炎祭 (コンベンションセンター)



宜野湾港マリーナ



PARCO CITY前



那覇空港

PARCO CITY

沖縄西海岸道路



リゾートホテル

大型ショッピングセンター

宜野湾港マリーナの課題への対応

昨年度説明会でお示しした対応の状況（一部）

- **放置艇・放置車両対策・廃船対策**

⇒マリーナ北側の廃船・船台を移動、イベント開催等に使える緑地へ

⇒廃船・放置車両について処理を順次実施中

- **維持補修、係留施設増設の計画的実施**

⇒今年度は引き続き給電給水設備の更新、浮棧橋修繕等を実施

⇒中長期の改善計画については改めて策定に向け作業中



An aerial photograph of the Onahara Marina. The marina is a large, rectangular body of water enclosed by concrete walls. Inside the marina, numerous sailboats and motorboats are docked at various piers. In the foreground, a white motorboat is moving across the water, leaving a white wake. The background shows a cityscape with buildings and a large green field, with hills in the distance under a clear sky.

与那原マリーナについて



与那原マリーナについて

- **平成28年**、西原・与那原マリンパーク整備の一環として整備（8年経過）
- 収容可能数 196隻（海上48、陸置き128隻）
→ほぼすべてが使用済み、待機者あり
- 給油施設、駐車場、クレーンなどを備え、
ビジターからも人気のマリーナ
- **指定管理者制度**による管理
（指定管理者：（株）シーエンジニアリング沖縄）
- 今後、整備が予定される**大型MICE施設との連携**も視野

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（2022年）における与那原マリーナの位置づけ

基本施策3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

(12) 持続可能な発展と県民生活を支える社会基盤の高度化及びネットワークの形成

② 中城湾港の物流・人流機能の強化

ポストコロナを見据えたクルーズ船寄港地の形成やスーパーヨット受入環境整備、**大型MICE施設等と調和したマリーナ整備**等に取り組む

県土の広域的な方向性

(1) 中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用

東海岸地域においては、（略）スポーツコンベンション拠点、**マリントウンMICEエリア**、（略）**東海岸サンライズポート等の形成**（略）など、賑わいの連鎖と魅力ある地域づくりを推進します。

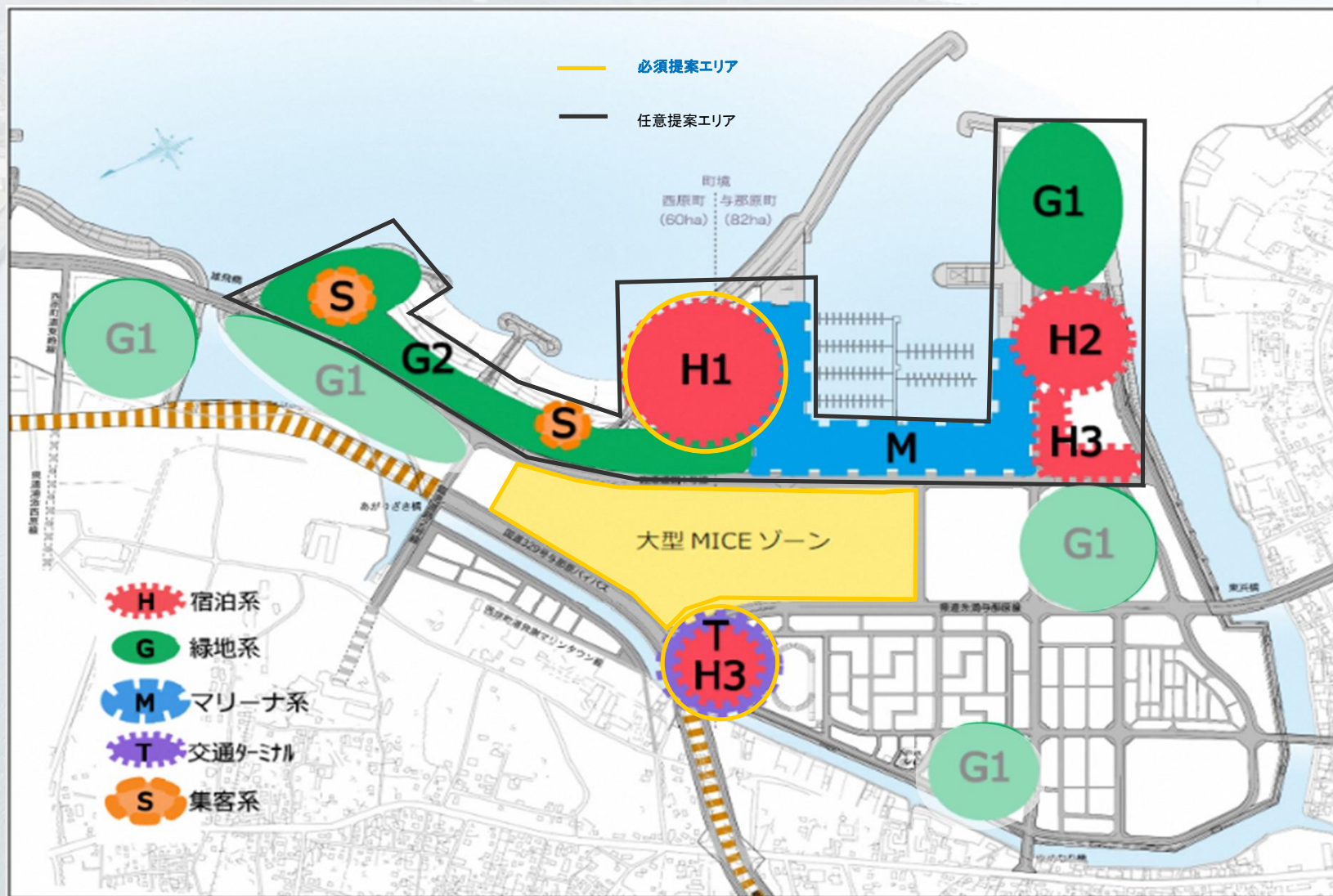
大型MICE施設の整備のコンセプト

「沖縄の観光リゾートの魅力」と「産業振興」の拠点

- MICE振興とビジネスツーリズムの推進 —
- ビジネス交流のプラットフォームとなる中核施設の形成 —



大型MICE施設整備の事業範囲



与那原マリーナの課題への対応

- **周辺環境の整備**

- ⇒マリーナ南側分譲予定地の放置車両・廃棄物等処理

- **外来艇への対応**

- ⇒今後のMICE施設整備に伴い、増加予想

- ⇒十分な受け入れ態勢のための方策を検討

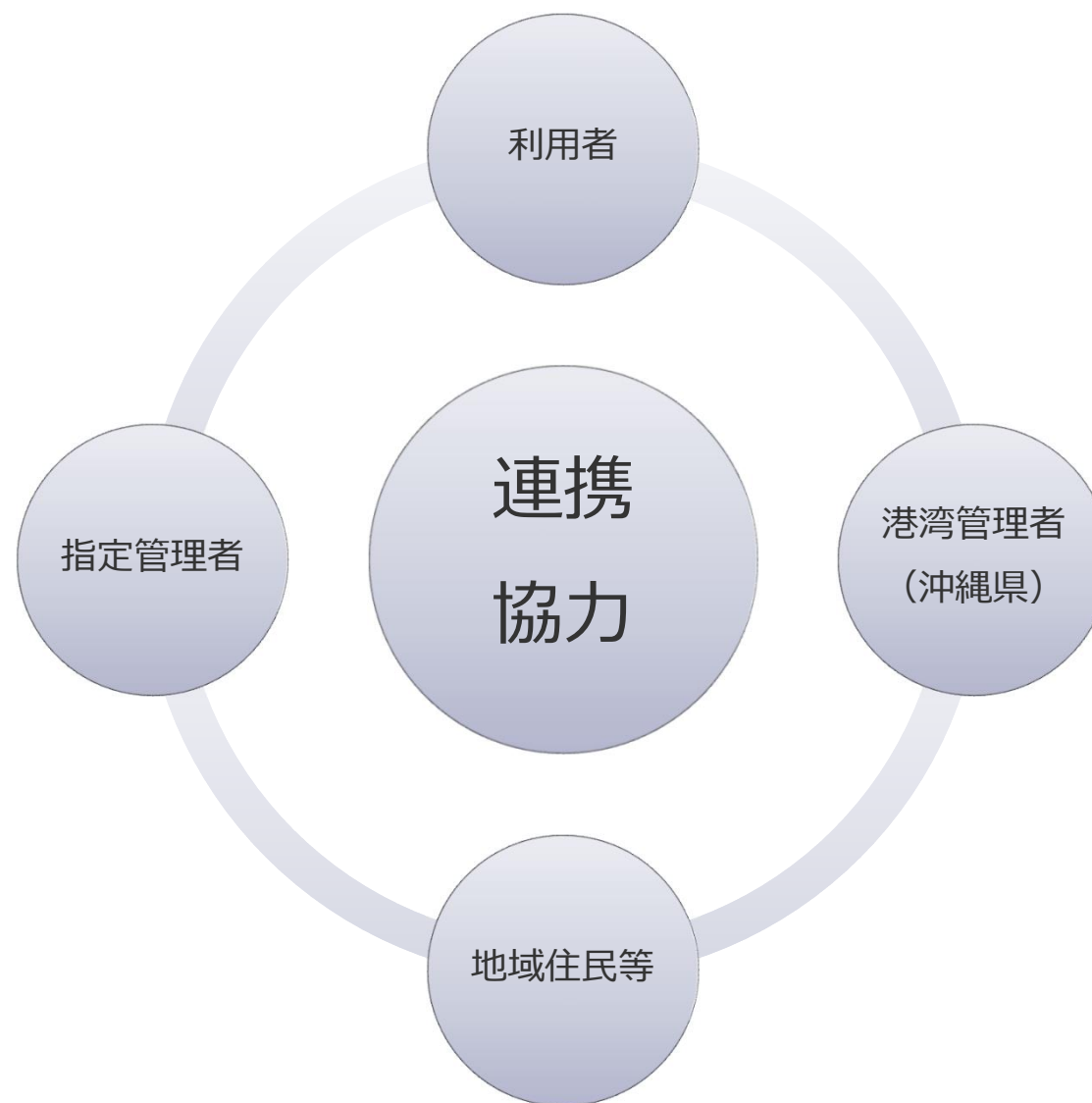
- **地域全体のにぎわい創出**

- ⇒与那原町等と連携した取り組みを検討

- **スーパーヨットも含めた今後の整備計画を検討**

両マリーナに共通する 今後の考え方について

利用者のために、より良いマリーナのために



説明は以上です

ご清聴ありがとうございました